相手の性別と男女平等意識による初対面の相手への自己呈示の違い

安藤ゼミ　樋口望実

目次

第1章　序論
第1節　問題関心
第2節　先行研究
第3節　本研究の目的
第2章　予備調査
第1節　目的
第2節　方法
第3節　結果
第4節　考察
・第3章　本調査
第1節　目的
第2節　方法
第3節　結果
第4節　考察
・第4章　総括
・引用文献・参考文献
・付録
予備調査アンケートフォーム
本調査アンケートフォーム

問題関心

自己呈示とは･･･

他者が自分に持つ印象を自分が想定している方向に操作し、

自分のイメージを印象操作により管理しようとする欲求と行動である

（斎藤　2004）。

先行研究

◎谷口・大坊（2005）
異性との関係親密度が、その異性に対する自己呈示に与える影響について検討した結果、恋愛感情は、
自己呈示動機と正相関があり、異性友人関係よりも恋人関係において自己呈示動機が高くなることを
明らかにしている。

◎佐野（2008）
女子大学生を対象に、男女平等意識が異性との関係における自己開示・自己呈示に与える影響について研究し、
友人関係より恋愛関係の方が男女平等意識による影響が大きいという仮説は棄却されている。

→これから関係発展の可能性がある初対面の男性と初対面の女性で自己呈示行動の比較を行いたい。

研究の目的

相手の性別と男女平等意識による初対面の相手への自己呈示の違いについて
以下の2点を明らかにすること

**①　女性は初対面で知り合う相手の性別によって
異なる自己呈示をおこなうのか。**

**②　女性は自らの男女平等意識の高さによって
初対面の相手に対する自己呈示に差があるのか。**

シナリオ実験概要

調査期間　2021年10月14日～2021年10月18日

対象者　女子大学生（本研究での分析対象者は１１８名）

調査方法　Googleフォームアンケートによるシナリオ実験

分析方法　HAD

シナリオ実験概要

シナリオ実験の場面設定

初対面の男性と会う場合と初対面の女性と会う場合の2つの場面設定をおこなった

シナリオ実験の例：

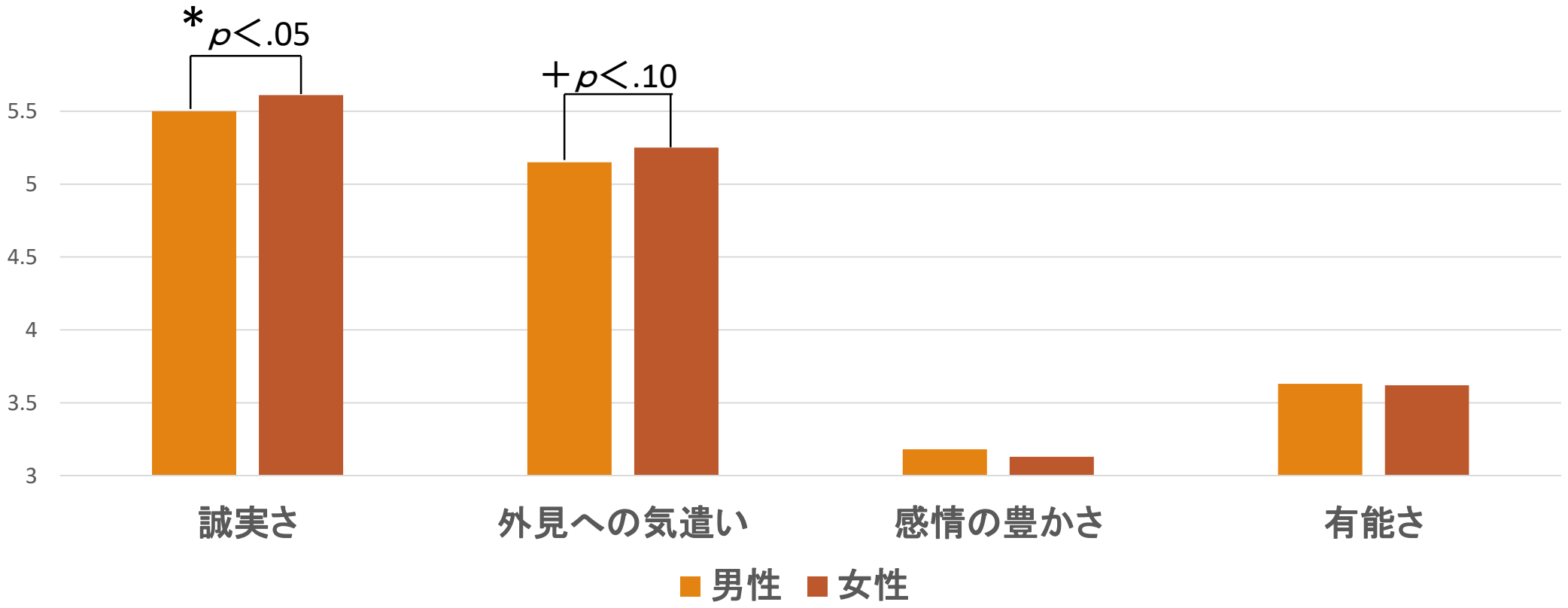
男性と会う場合

「今週末、あなたは友人の紹介で初対面の同い年の男性Aさんと友人と3人で会う予定になっています。あなたは初対面の男性Aさんと会うときにどのようにみられたいですか。」

結果①
自己呈示行動の因子分析の結果

誠実さ	「嘘をつかない」「言葉使いに気をつける」「約束の時間をしっかり守る」など5項目
外見への気遣い	「普段より服装に気を使う」「普段よりメイクに気を使う」など3項目
感情の豊かさ	「繊細である」「やきもちは妬くほうだ」「ロマンチックな場所へ行く」など7項目
有能さ	「主義・主張がある」「知的な会話を心がける」など4項目

結果②
対応のあるt検定による平均値の差の検定の結果



結果③　シナリオ実験の場面別の自己呈示行動と男女平等意識の相関分析の結果

表：初対面の相手の性別ごとの自己呈示行動(「誠実さ」「外見への気遣い」「感情の豊かさ」「有能さ」)と男女平等意識との相関分析の結果

		男女平等意識			男女平等意識
男性に会う場合	誠実さ	-.045	女性に会う場合	誠実さ	-.013
	外見への気遣い	.032		外見への気遣	.031
	感情の豊かさ	-.075		感情の豊かさ	-.177 +
	有能さ	.004		有能さ	-.024

+ $p < .10$

考察①

女性は初対面で知り合う相手の性別によって異なる自己呈示をおこなうのか

女性は男性と会う場合よりも女性と会う場合に
「誠実さ」と「外見への気遣い」の自己呈示をより行う

同性である友人からの
否定的評価を回避するためか？

初対面の男性に変に
気を持たせることを回避するためか？

考察②

女性は自らの男女平等意識の高さによって、初対面の相手に対する自己呈示に差があるのか

女性は初対面の女性に対して、男女平等意識の高い人ほど
感情が豊かな人であると見られたいとは思わない

同性の相手に、女性のステレオタイプに当てはまっていると
思われたくないためか？

ご清聴ありがとうございました。